

2学期期末試験でよい点数をとるためにはどうしたらよいか  
—定期試験での100点の取り方—

開倫塾  
塾長 林 明夫

1. はじめに

どうしたら学校の定期試験でよい点数、できれば100点満点をとれるかは、学生という「職業」に従事している人にとって避けて通れない問題です。なぜなら、定期試験でよい点がとれるということは、学生という職業と正面から立ち向かい、真面目に「自分の仕事をした」結果だからです。学生は「勉強することが職業・仕事」ですから、よく自分の仕事をした人は定期テストでよい点数がとれるし、仕事を十分しなかった人は、余りよく成績がとれないと言えます。これに加えて特に最近では、よい成績がとれ、その学校を出る時点でよい評価が得られ必ず後々報われること、学校の勉強でも同じです。

そこで、今回は、とりあえず、間近に迫った2学期の期末試験でのよい成績の取り方を説明いたします。

2. 「今度の定期試験こそよい点数を取るのだ」という固い決意をすること

決意ができていないのとしないのでは天と地の違いがあります。固い決意ができ「やる気」にあふれていれば、限りないエネルギーが全身からにじみ出てくるからです。「ミラクルパワー」が全身からあふれ出ます。

意志が弱くやる気になかなかない人は本当に気の毒としか言えません。ただ、そこであきらめたら一步も進まないのだから、やる気のない人がやる気の出るっておきの方法を今お教えします。とても簡単なことです。それは「やる気にあふれている人に近づき、その人からあふれ出ているエネルギーをおすそ分けしてもらおうこと」です。友達でも、先輩でも、親戚のおばさんでも、誰でもいいのです。とにかく、元気いっぱい全力を傾けていきている人のそばに近づいていき、エネルギーのおすそ分けにあずかることです。できれば、元気のない人、いつも消極的否定的なことばかり口走る人はエネルギー源とならないばかりか、こちらのエネルギーも取られてしまいますから、「あいさつ」程度のつき合いにしておくことも大事です。(病気やその他特別の理由で気弱になっているなら別です。そういう人には、やさしくしてあげてください。)

3. 学校から帰ったら、夜眠るまでにしなければならない勉強の内容をまず一覧表に書き出し、タイム・スケジュール表を作成、終わった項目から赤線で消していく。

半月分、1ヶ月分の計画を立てられ、それをそのまま「実行」できる人は、このやり方は必要ありません。しかし、計画を立てられない人、立てても最後まで実行できない人には、この方法はおすすめです。なにしろ、学校から帰ってから夜眠るまでの計画を、家について少し休んでから立てるので

すから、「ちょっとだけしかやる気のない人」でも、これはできます。

- \* 小学校で私立中学入試を受けようとしている 5, 6 年生は、保護者の方といっしょにこの計画を毎日立てて下さい。現在、どのような成績でも、必ず短期間にもものすごい学力が身につきます。
- \* 大学受験を間近にひかえた高 3 生や浪人生にもおどろくほどの効果があります。是非試して下さい。

土曜日や祝日、日曜日には、朝食を食べ終わったらこの表を作成するとよいでしょう。

終了した項目を赤線で消していくと、ああここまで終わった、もう一息だと、勉強に励みができます。2～3 日続けられれば、自分自身のペースがつかめ計画の立て方が身につきます。私のこの文章を読んだその日から、是非定期試験の最終日の前日まで、試しに、この方法を実際にやってみて下さい。あなた自身がおどろくほど、よい点数が全科目とも取れていますので。

[このタイムスケジュール表のモデルがほしい人は、私のつくったものがありますので開倫塾まで TEL でお申し込み下さい。無料でお送りします。]

#### 4. 英語は、本文と基本文の日本語訳を見て英語が書けるように、まずすること。

数学は、教科書の問題を 6 回解くこと。

科目ごとに何をやっていかかわからない人は、まず右の通りのことを英・数 2 科目について、やり終えて下さい。

#### 英語

中間試験用の英語のノートに 1 冊まず作って下さい。2 学期の中間試験の範囲のすぐ後から、今習っている課の最後あたりまでが 2 学期期末テストの範囲です。この範囲について、まずノートの左ページに 1 行おきに、教科書の本文と基本文の日本語訳を書いて下さい。意味が分からなければ、教科書かノートを見たり先生や友達に教えてもらって下さい。試験範囲についてすべて意味を書き終えたら、一気に日本語だけを見て、英語をノートの右ページにこれまた 1 行おきに書いて下さい。書けないところはどんどん残して OK です。発音はうっすらわかるがスペリングが書けない場合は、カタカナで書いておく。全範囲について英語を書き終えたら、赤のペンで、ていねいに添削をして下さい。あとは、そのノートを常に持ち歩いて完全にできるようにすればよいだけです。そして、試験までに 2～3 回、ノートの左ページの日本語だけ見て、別の紙やノートにその英語を書いてみることを試みれば、短い時間でとてもよい点が取れる基礎ができます（これだけでも 60～70%は OK です。）

- \* もちろん暗記やスペリングを書く練習を十分にしてからこの方法を試みるのが最もよいでしょう。何も見ないで本文を一気に書き上げる「暗写」までできれば 80 点以上は確実に取れます。
- \* この和文英訳の作業が終わってから、準拠問題集を 2～3 種類一気に終わし、これまた、まちがえたところをていねいに自分で赤色で添削、そこだけ集中的にやり直せば 100 点に限りなく近づきます。
- \* 英語の勉強をする上で大事なことのひとつに「教科書を大声でただひたすら読むこと（只読）」があります。毎日 20～30 分間、おなかの底から声を出し、試験範囲を読み続けるだけで 100 点を取ってしまう人がたくさんいます。ここまでやれば、死ぬまで毎日読んだ教科書の文章は頭から離れませんので、一生使える英語の基本ができます。英語好きには大声で英語を読むのが好きな人がた

くさんいます。

## 数学

英語と同じく、2学期期末テストでよい点数を取るためのノートを1冊用意して下さい。数学の試験範囲も英語と同じく、2学期の中間試験の範囲の直後から、今学校でやっている内容の章の最後あたりまでだと予想されます。これで範囲が分かりましたから、あとは、その範囲の教科書に出ている問題をていねいに1題ずつすべて解いてみるだけです。どんどん解いてみて下さい。わからない問題はわかる場所まで解くことも大事です。範囲内の全部の問題を解き終えたら、答え合わせをして下さい。学校の授業中使ったノートやガイドを見てもわからなかったら、英語同様、先生や友人に教わって下さい。塾の先生にもどんどん聞いて下さい。

できなかった問題は赤でていねいに添削。その場で2～3度やり直して下さい。一通りこの作業が終わったら、まちがった問題だけ、もう1冊の薄目のノートを用意して、問題と解答の仕方をていねいに書き写し「間違いノート」を作成して下さい。この「間違いノート」の問題だけでもう5回やり直し、問題を見たらその瞬間に「解き方」と「解答」が出てくる前の状態にして下さい。期末テストのような定期テストならこれだけで80%以上必ず取れます。(学校によっては100点も。)

ここまできたら、開倫塾で使っているテキストをもう一度解き直して下さい。レベルの高い問題も難なく一気に解けるようになります。